

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2023年9月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで61年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2024年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

**放送批評懇談会**

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



&lt;お問い合わせ先&gt;

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島  
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F  
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510  
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2023年9月度ギャラクシー賞月間賞

**土曜ドラマ「最高の教師 1年後、私は生徒に■された」**

7月15日～9月23日放送 22:00～22:54 日本テレビ放送網

学園ドラマの王道がアップデートされたかたち、一種の「ポスト学園ドラマ」と捉えられる点に新しさを感じた。松岡茉優、芦田愛菜、加藤清史郎らも好演。いじめや家庭の貧困などだけでなく、特に不自由はないが生きることリアリティを感じない生徒という現代的な問題も浮き彫りになるなど、最後までクオリティが落ちなかった。

**レギュラー番組への道「危険なささやき」**

9月23日放送 23:30～24:00 日本放送協会

旧統一教会の元信者の女性の証言や裁判記録から、彼女がどのように教会の勧誘を受けて取り込まれていったかを、専門家の解説を挟みながら再現。人のちょっとした心の隙に言葉巧みに入りこんでいく様子を非常にリアルに見せた。旧統一教会から放送中止の申し入れを受けても聞き入れずに放送した姿勢を評価したい。

**NHKスペシャル「“冤罪”の深層～警視庁公安部で何が～」**

9月24日放送 21:00～21:55 日本放送協会

身に覚えのない罪に問われた中小企業経営者たちの表情は厳しい。勇気をもって組織の不正と暴走を告発した警察官たちの姿は見えないが、その証言は取材陣の行動に力をもたらしたことだろう。丹念な独自取材で真相に迫った努力が結実したといえる。抑えた印象の効果音やナレーションも真相究明にふさわしいものだった。

**連続テレビ小説「らんまん」**

4月3日～9月29日放送 8:00～8:15 日本放送協会

独学の植物学者である主人公が生涯をかけて植物図鑑を作るという夢に向かう物語を、壮大で生き生きとした人間ドラマに昇華させた脚本、演者、制作陣に拍手を送りたい。主演の神木隆之介と浜辺美波は、役者がひとつの作品で別次元にステップアップする姿を目撃させてくれた。

★詳細は月刊誌「GALAC」2023年12月号に掲載します